



健診人間ドックのご案内

健診会 東京メディカルクリニック



3つの特徴

1.

ハイクオリティな診断機器を使用した 豊富なコースとオプションメニュー。

スタンダードな人間ドックから、より詳細な検査を行うコースまで、
さまざまなご希望に応える幅広いバリエーションをご用意しております。

MRI・CT・内視鏡などの診断機器は正確な診断を行うために
ハイクオリティな装置を用意し、さらに高度な検査を行うコースや
オプションをご自由にお選びいただけます。

2.

土、日も受診可能。安心の女性スタッフ。

忙しい方のために土曜日、日曜日、平日午後もご受診いただけます。

快適に効率よく検査を受けていただく為に、コンシェルジュが
空き状況を確認しながらご案内いたします。

婦人科、乳腺検査は全て女性医師・女性技師が対応いたします。

3.

充実した外来診療で安心のアフターフォロー。

異常が見つかった場合は併設の外来診療の受診や大学病院への紹介が可能です。

内科は消化器内科、循環器内科、内分泌科、呼吸器内科専門医が在籍し、
適切で迅速な検査、治療を行います。

内科以外も乳腺科、婦人科など女性の方に必要な診療科もございます。





3F 健診フロア・婦人科診察室

スピーディーで正確な検査のために各検査にICカードを導入。



1F 外来診療

診察室3室で専門医による質の高い診療とわかり易く丁寧な説明。



1F 内視鏡室

体への負担が少ない経鼻内視鏡も可能。検査装置を2台に増設。



1F カフェ

検査終了後、提携カフェのお食事券をお渡しいたします。

施設のご案内

3F

健診フロア・婦人科診察室

2F

人間ドック・健診センター事務所

1F

外来診療・内視鏡フロア

B1

画像センター・人間ドックフロア



B1 画像センター

3テスラMRI1台・1.5テスラMRI2台 / 64列マルチスライスCT
1台を設置。



B1 人間ドックフロア

リラックスしてお待ちいただけるようにゆったりとしたソファを設置。



B1 診断機器

胸部X線装3台・胃部X線装置3台・マンモグラフィ1台・超音波装置4台などハイスペックな診断装置を揃えております。

Check!

健診会が誇る ハイグレードな診断機器

ハイグレードな診断機器でハイクオリティな
診断が可能です。

大学病院などから検査依頼を受ける画像診
断センターを併設しているため、MRIやCT、
内視鏡などの診断装置は最高レベルの装置
を揃えております。

大学病院との共同研究や学会発表も積極的
に行い、最先端の技術を取り入れております。



MRI

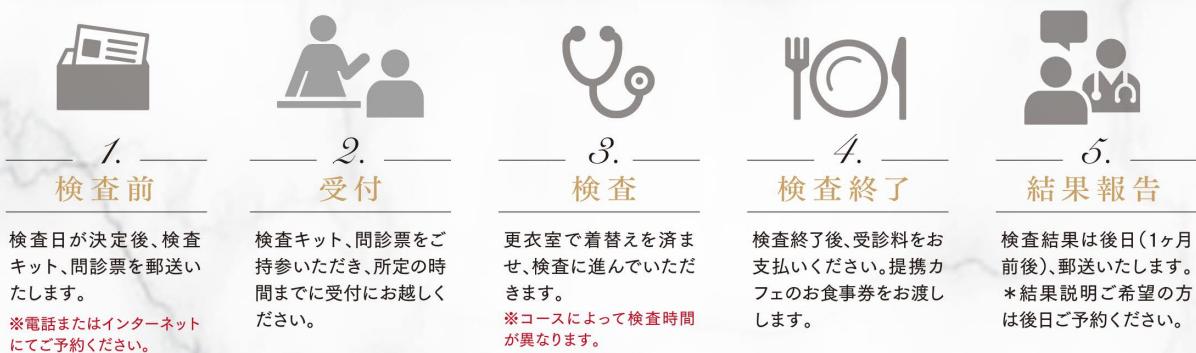


CT

MRI 3.0テスラ

CT 128スライス

標準的な検査の流れ



人間ドックコース

生活習慣病全般の検査を行うスタンダードな人間ドックコース



がんや心臓病、高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病を全般にチェックする一般的な人間ドックコースです。人間ドック学会が推奨する1日人間ドック基本項目が網羅されています。胃の検査はバリウム検査が苦手な方のために、ABC検診に変更可能です。

・ 主な検査項目 ・ 検査項目詳細は別紙の検査項目表をご参照ください。

内科診察	身体測定	血液一般	尿・便検査	心電図
胸部X線	胃部X線*1	腹部超音波	眼底・眼圧	肺機能検査

*1 ご希望の方はABC検診(ピロリ菌+ペプシノゲン検査)に変更可能です。

MRIなどを利用してより詳細な検査と 男性・女性に特化した検査を実施する充実のコース



スタンダードドックにMRI検査を追加したより詳細な人間ドックです。腫瘍マーカーやCT、マンモグラフィ、超音波検査などにより男性、女性特有の病気のリスクをチェックする検査項目で多角的な視点による診断が可能です。

・ 主な検査項目 ・ 検査項目詳細は別紙の検査項目表をご参照ください。

スタンダードドック	+	MRI(頭部or骨盤)	腫瘍マーカー
		胸部CT(男性)	マンモグラフィ(女性)

MRI・CT・内視鏡などハイクオリティな診断装置を利用して全身の 詳細な検査を行う、当院で最もハイグレードな人間ドックコース



健診会東京メディカルクリニックで行える詳細な検査を盛り込んで、1回の受診で全身の詳細な検査を受けることができます。

・ 主な検査項目 ・ 検査項目詳細は別紙の検査項目表をご参照ください。

スタンダードドック	+	頭部MRI / MRA・頸部MRA	胸部CT	腹部CT
		大腸CT	胃部内視鏡	腫瘍マーカー

その他にもさまざまなコースをご用意しております。その他のコース、コース内容、料金は別紙検査項目・料金表をご参照ください。

年代別おすすめ人間ドック

30代

生活習慣病の検査を中心に。

30代では心臓病、脳血管疾患のリスクとなる、生活習慣病のチェックが重要です。

スタンダードドックなどのコースにリスクに合わせたオプション検査を追加しましょう。肺がん、胃がんや大腸がんといった疾患は30代から小さく存在する可能性もありますので、胸部CTや大腸CTなどでこの年代で一度はチェックしましょう。

女性 若年でもリスクの高い乳がん、子宮頸がんは毎年チェックしましょう。乳腺の多い若年世代は乳腺エコーがオススメです。

50代

基礎健診だけでは見抜けない場合も。

50代になるとがんや心臓病、脳血管疾患等のリスクが高まっています。これらは基礎健診だけでは見抜けないこともありますのでMRI・CT検査などの精密な検査も組み合わせて受診すると効果的です。

プレミアムドックやエグゼクティブドックは全身の精密な検査が組み込まれていてお勧めです。

この年代からがんのリスクが高まっていますので、MRIとCTを1年ごとに組み替えるなどの工夫をすることも効果的です。

女性 乳がんの検査はマンモグラフィと乳腺エコーを組み合わせると良いでしょう。

男性 この年代から毎年PSA(前立腺がん)をチェックしましょう。

40代

全体的なスクリーニング検査にリスクのある検査をプラス。

40代になると定期的な検査が必要になってきます。飲酒や喫煙など生活習慣の影響が現れはじめやすい世代で、複数の臓器を全体的にスクリーニングする必要も出てきます。男性、女性のリスクに合わせた検査が行えるプラチナドックがおすすめです。

40代から増え始める大腸がんも大腸CTなどで3年に一度はチェックしましょう。

女性 女性はリスクの高い乳がん、子宮頸がんは毎年チェックしましょう。乳がんの検査はマンモグラフィと乳腺エコーを組み合わせると良いでしょう。

60代以上

症状が出にくい部位も年に1度の精密検査を。

60代になると様々な病気やがんのリスクが高まっていますので1年に一度は精密検査を受けるようにしましょう。前立腺や肝臓など、症状が出にくい部位についても定期的にチェックすることを怠らず万一に備えましょう。

プレミアムドックやエグゼクティブドックは全身の精密な検査が組み込まれていてお勧めです。

50代以降はがんのリスクが高まっていますので、MRIとCTを1年ごとに組み替えるなどの工夫をすることも効果的です。

女性 子宮頸がんより体癌のリスクが上昇。乳腺はマンモグラフィを毎年受診しましょう。

男性 毎年PSA(前立腺がん)をチェックしましょう。



人間ドック・企業健診に関する詳細はホームページもご参照ください
<http://www.dock-tokyo.jp/>

MRI検査

強い磁場を有するトンネルの中に入り、磁石と電波を使って検査します。

いろいろな角度から身体の内部の断面を撮影し画像化する検査です。

放射線を使用しないので被曝がありません。

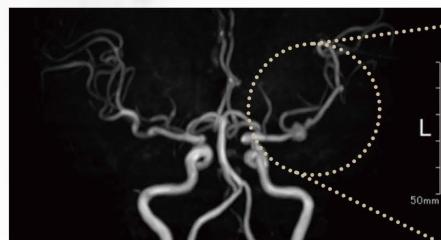
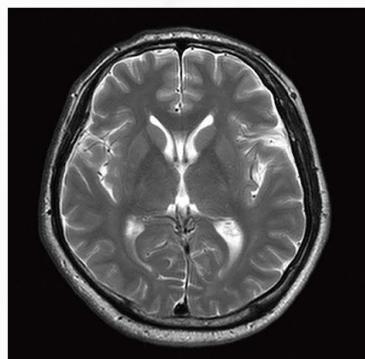
健診・人間ドックでは脳・腹部・骨盤などのスクリーニング検査に有用です。

日本人の死因、第4位の脳血管疾患を検査

MRIでは骨の影響を受けないため、頭蓋骨に囲まれている

脳内も鮮明な画像が得られます。いろいろな角度から撮影出来るため、

脳梗塞や脳腫瘍などの病変の発見や位置や大きさを診断するのに役立ちます。



動脈瘤は3Dで詳細まで描出可能



拡大

くも膜下出血の原因の80%以上は脳動脈瘤

MRA(造影剤を使用せずに血管のみを描出する検査)では、

血管の状態を立体的に把握でき、血管の狭窄や梗塞、

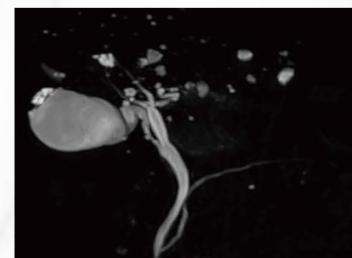
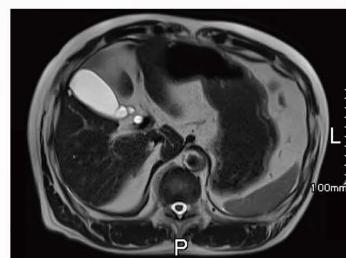
くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤などの脳内血管の異常の発見に役立ちます。

Check!

MRCP

MRCPはMRIを用いて胰管・胆管を描出する検査です。

腹部超音波検査や上腹部CT検査では描出が難しい場合がある胰臓がんや胆管がんなどを発見するのに有用とされています。



CT検査

CT検査はX線を使って身体の断面を撮影する検査です。

体内の様々な病巣を発見することができますが、特に心臓・大動脈・気管支・肺などの胸部、

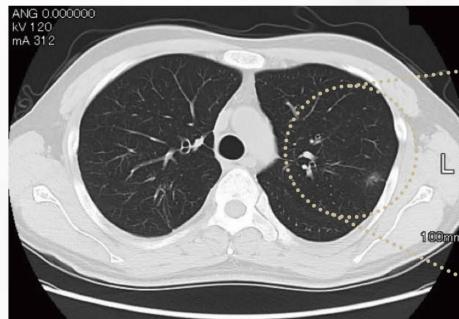
肝臓・腎臓などの腹部の病変に関しては、優れた描出能が知られています。

近年では大腸CTも大腸がんのスクリーニング検査として注目されています。

胸部X線で発見される肺がんのうち、早期がんは20%程度

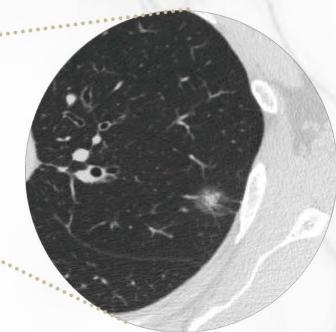
胸部X線(レントゲン)写真では非常に小さな病変であったり、心臓や肋骨、横隔膜などに重なる部位があるため、肺がんを見つけることが困難な場合があります。

胸部CTではこの弱点を補い、肺がんの発見率は胸部X線検査の約8倍です。



拡大

X線では描出困難な小さな病変も
細かく高画質な画像が描出可能



拡大

Check!

大腸CT

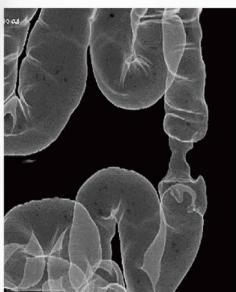
大腸CT検査は罹患率1位、死亡率2位と年々増加傾向にある大腸がんの検査を

CTで行い、3Dで内視鏡像(仮想内視鏡像)を描出する検査です。

大腸内視鏡と比べて下剤量が減量し、前処置が楽になり、検査時間も10分程度と短く、
検査中の苦痛も軽減されるため大腸がんのスクリーニング検査として非常に有用です。



CT像



air image



仮想内視鏡像



大腸内視鏡像

内視鏡検査

消化管内視鏡検査とは、先端に小型カメラ（CCD）またはレンズを内蔵した

太さ5mm～1cm程の細長い管を口・鼻あるいは肛門より挿入し、

消化管の内部を観察します。上部内視鏡検査では

食道・胃・十二指腸の観察を行い、がんや潰瘍、炎症などを診断します。

内視鏡検査時にピロリ菌感染が強く疑われるような胃炎や粘膜の萎縮がみられる場合には、その場でピロリ菌の検査を行うことで、効果のある除菌薬を選択する可能となります。当院の除菌率は全国平均よりも高水準を保っています。

苦痛の少ない経鼻胃内視鏡検査

当院では経鼻胃内視鏡検査をお勧めしています。口から内視鏡を挿入する方法（経口法）と比べて、喉頭・咽頭もかなりしっかりと観察でき、まれに喉頭がんや咽頭がなどを発見することができるからです。また、下記のような特徴があります。

1. 苦痛が少ない

経鼻内視鏡は鼻にスムーズに挿入できる約5mmの細さです。痛みを感じることがほとんどありません。



2. 嘔気が起きにくい

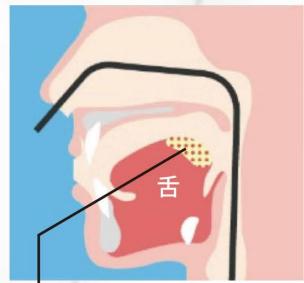
内視鏡を苦痛と感じる方の多くはスコープが喉を通るときの吐き気です。経鼻内視鏡は嘔吐反射が起きる部分を通らないので吐き気が少なく検査できます。

口からの胃内視鏡



この部分に
スコープが触れると、
吐き気を感じます。

鼻からの胃内視鏡



この部分に、スコープは触れにくい。

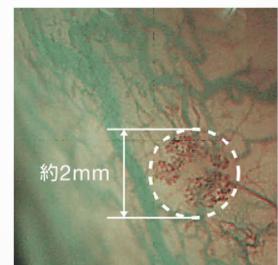
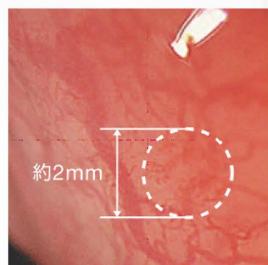
3. 検査中に話をすることができる

鼻からスコープを入れるために検査中に会話をすることができます。検査中に質問したり、気分がすぐれないことなどを医師やスタッフに伝えたりすることができます。

Check!

NBI観察

NBI観察とは内視鏡スコープの操作部についたボタンを押し、特殊な光（狭帯域光＝スペクトル幅の狭い光）を発することにより、粘膜の模様を強調する画像を得る観察方法です。通常の光による観察に加え、スクリーニング検査の際にも簡単に切り替えて使用することができ、特殊光（NBI）を併用した拡大内視鏡を用いて、主に血管の太さ・長さ・不整・血管のない領域を観察することで、早期がんを発見しやすくなります。



健診結果から診療まで安心のアフターフォロー

健診結果

結果表は郵送いたします。全ての検査が終了した日から
2~4週間程度で発送いたします。検査の内容によって、
結果郵送までにお時間がかかる場合がございますのでご了承ください。
(特に内視鏡生検を行った場合や大腸CT検査等はお時間がかかります。)



結果説明

結果説明をご希望の方は、医師より血液検査から画像検査まで
丁寧にご説明いたします。予約制(月~金曜日)ですので、
必ず来院前に電話にてご予約をしてください。

TEL: 0120-770-929

※外来では結果説明の受付を行っておりません。必ずご予約ください。



2次精査・診療

検査結果で精査・治療が必要になった場合は、
当院診療科(保険診療)にご案内しております。
月~日曜日まで内科を中心とした専門科を設けております。



内科

消化器内科

循環器内科

内分泌代謝内科

乳腺科

婦人科

さらに治療や精査が必要な場合は、当院と連携している大学病院、総合病院に
ご紹介、情報提供をいたします。診療科・診療時間・担当医表をご参照ください。



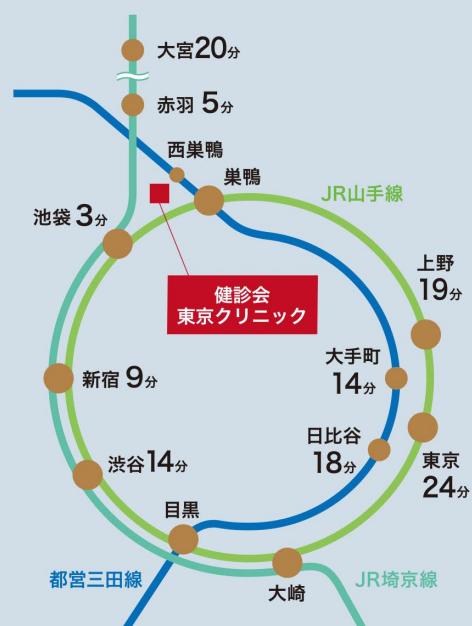
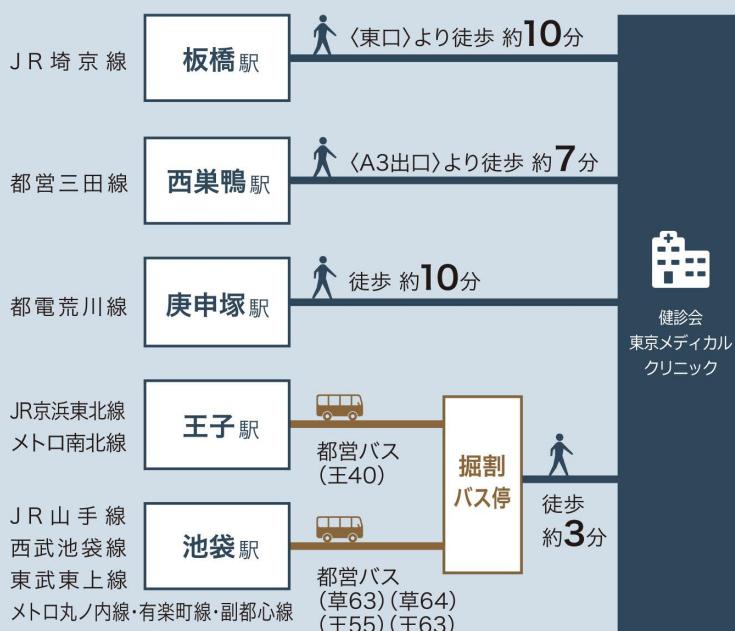
交通のご案内

【東京先端医療モールビル】 〒114-0023 東京都北区滝野川 6-14-9

TEL: 0120-770-929 FAX: 03-5980-3439



電車・バスでのアクセス



人間ドック・企業検診に関する詳細はホームページもご参照ください
<http://www.dock-tokyo.jp/>